

環境活動レポート (株) 永井製作所

<ご挨拶>

株式会社永井製作所は、1955年の設立以来アルミダイカスト工業一筋に営んでおります。1991年に埼玉県戸田市から現在の群馬工場へ生産拠点を移し現在に至っております。ダイカスト工業は、多量のエネルギーを必要としますので環境負荷が重視される昨今、環境負荷軽減に努めるべくエコアクション21に取り組む事と致しました。

取組んだ結果を「環境活動レポート」にまとめましたので、ご高覧頂き、ご指導・ご指摘等宜しくお願い致します。

株式会社永井製作所

代表取締役社長 永井 崇

目 次

I. 環境方針	P 1
II. 事業活動規模	P 2
III. 環境目標とその実績	P 3
IV. 環境活動の取組計画と評価	P 5
V. 環境関連法規の遵守状況	P 7
VI. 代表者による全体評価と見直しの結果	P 8

I. 環 境 方 針

[基本理念]

㈱永井製作所は、地球環境保全の重要性を認識し、地球上の限られた資源・エネルギーの有効利用と、生産活動で生じる産業廃棄物の削減を図り、経営の一環として環境保全に取り組めます。

[基本方針]

次の事項を重要な課題として、環境目標を設定して効果的な取組を行います。

1. 当社は、アルミダイカスト産業を営む中で、材料を溶解する為に多くのエネルギーを必要とします。これらのエネルギー及び資源の有効利用を目指し、下記の通り宣言します。
 - (1) CO₂排出量削減に向け、LPG及び電気の有効利用に努めます。
 - (2) 生産活動で発生する廃棄物は、再生利用率を高め、最終処分量の抑制に努めます。
 - (3) 水資源を大切にし、節水に努めます。
2. 環境保全活動は、環境目標・環境活動計画を策定し推進します。策定した目標・計画は、定期的または必要に応じて見直します。
3. 事業活動に関係する、環境関連法規その他公的規制事項を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、社員の環境教育を行い、環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

～ この環境方針は、社内外へ公表します ～

2011年4月2日
株式会社 永井製作所
代表取締役社長

永井 崇

Ⅱ. 事業の活動規模

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 永井製作所
代表取締役社長 永井 崇

2. 所在地

群馬工場 : 〒374-0133
群馬県邑楽郡板倉町岩田2259-2

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 代表取締役社長 永井 崇
環境管理責任者 専務取締役 永井 一馬
担当者 エコアクション21事務局 森田 幸子
連絡先 TEL: 0276-82-4141
FAX: 0276-82-4140
URL: www.nagai-ss.co.jp

4. 事業の内容

アルミ・亜鉛ダイキャスト部品の製造

5. 事業の規模

		単位	基準期間	対象期間
			2014年度 2014年4月～2015年3月	2018年度 2018年4月～2019年3月
従業員		人	32	34
床面積	敷地	m ²	4,699	4,699
	建物	m ²	2,350	2,350

6. エコアクション21対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社 永井製作所 全組織・全活動

Ⅲ. 環境目標とその実績

1. 2018 年度の目標と実績

環境目標	単位	2018 年度		
		目標値 (2014 年度実績に対して)	実績値	目標達成 状況
二酸化炭素排出 量の削減	Kg-CO2 / 百 万円	1245.12 (0.4%削減)	1112.19	達成
廃棄物の削減	t/ 百万円	0.0288 (0.4%削減)	0.0272	達成
水資源投入量の 削減	m3/ 百万円	1.270 (0.4%削減)	1.640	未達
グリーン品購入 の推進	—	現状把握	—	達成
化学物質の把握	—	成分・検査報告書の保管	—	達成
不良率の低減	—	2.2%以下	2.79%	未達成

※二酸化炭素排出量を算出する際に使用した係数は 0.474 (kg-CO₂/kWh)

※2018 年度の二酸化炭素総排出量は、600586.42kg-CO₂

2. 今後の目標

2014 年度を基準として 2016 年度～2018 年度の中長期目標を策定して進めてきました。今後は、2018 年度を基準として以下の中長期目標を策定します。

環境目標	単位	2019年度	2020年度	2021年度
		実績 2018 年度基準		
二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO2/百 万円	0.1%削減	0.3%削減	0.5%削減
廃棄物の削減	t/百万円	0.1%削減	0.2%削減	0.3%削減
水資源投入量の削減	m3/百万円	0.1%削減	0.2%削減	0.3%削減

IV. 環境活動の取組計画と評価

取組計画	評価
二酸化炭素排出量の削減 ①. エコドライブの推進 車両の運転管理記録を行い、給油量と走行距離を把握する ②. 照明・PC電源不要時のOFFの推進	環境目標は達成している。 大型連休中の溶解炉の稼働停止を実施した。 照明等の不要時のOFFの徹底ができた。 800 tの受注減の為、電気使用量が減少した。
廃棄物排出量の削減 ①. ゴミの廃棄量の削減 ②. 委託業者との契約書及びマニフェストの管理の徹底	環境目標は達成している。 過去の不要物等の処分を移転時期に合わせて一斉処分をする為、今年度は廃棄物排出量が減少。 来年度は、未達になる可能性大。
水資源投入量の削減 ①. 揚水量の削減 ②. トイレの節水	環境目標は未達成である。 住み込み研修生の日常生活水が増えた為。
グリーン購入の推進	事務用品等購入時に環境配慮商品を買うように意識することが定着している。
化学物質の把握	顧客要求に対応して材料、副資材のSDSを入手し提出した。
不良率の低減	昨年同様、客先品質が過剰になっているため、社内検査員の品質意識も過剰となっている。

《次年度の取組について》

工場移転に伴い、電力・ガス使用量などが変わることが予測する中で、現状の使用量から大幅な増加が無いように取り組んでいきたい。

また、工場移転後に電力・ガス使用量などを詳細に集計していきたい。

日々の環境に配慮した活動は、工場移転後も積極的に行っていく。

V. 環境関連法規の遵守状況

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

No.	法律・条例その他の名称	該当する活動	備考
1	自動車から排出される窒素酸化物	Nox. PM 規制地域では、規制をクリアしない車は使用しない。	順法
2	浄化槽法	定期点検及び法令点検の実施	順法
3	騒音規制法	特定施設の届出・基準値の順守	順法
4	振動規制法	特定施設の届出・基準値の順守	順法
5	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	1. 委託業者との契約 2. マニフェストの管理及び交付状況の報告 3. 保管基準の順守（分別・掲示板等）	順法
6	労働安全衛生法	1. 安全管理者及び衛生管理者の選任、委員会の設置及び開催 2. 作業主任者の選任 3. 健康診断の実施	順法
7	消防法	1. 消防用設備の設置及び定期点検 2. 防火管理者の選任及び訓練の実施	順法
8	フロン排出抑制法	3カ月に1回の簡易点検の実施	順法

2. 行政による騒音測定の結果、基準値を順守している。

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

2018年度は二酸化炭素排出量削減目標が達成出来たが生産設備等が受注減少傾向にありフル稼働出来ておらず、真の目標達成とは言えない。

今後は、工場移転に伴い、新規受注など積極的な活動により生産設備などをフル稼働させて真の目標達成をしたい。

株式会社 永井製作所

代表取締役社長

永井 崇